

『C型肝炎 新規治療薬 ジェノタイプ2型にも登場！』

肝臓川柳

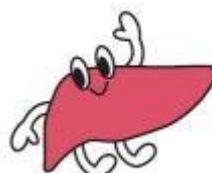


『いよいよです 2型の完治も すぐそばだ』

(すぐそばだ……ソバダ……ソバツダ……サバディ……ソバルディ)

……………ノノノノノ

去年9月よりC型肝炎のウイルス駆除治療は、インターフェロンを使用しない飲み薬2種類（ダクルインザ、スンベプラ）の治療が可能になり、大変多くの患者さんに使用されています。ただし対象はC型肝炎ジェノタイプ1型の方のみでした。今度、今月5月下旬に、ジェノタイプ2型の方を対象に新規経口薬治療が可能になります。ソホスブビル（NS5B 阻害薬：商品名ソバルディ[吉利アド・サイエンシズ社]）が、新しい飲み薬で、これにリバビリン（商品名コペガス[レベトールも後日]）を加えた2種の飲み薬による治療です。日本の治験成績では、ウイルス駆除率97%で、前回治療成績、肝硬変有無などに関わりなくほとんど100%駆除可能です。副作用はリバビリンの貧血、皮疹が軽度ありますが、ソホスブビル（ソバルディ）はほとんどないと言われています。ただ海外の成績でソホスブビル使用例に少数ですが死亡例があると報道されました。詳細は不明の点が多いですが肝機能のきわめて悪い方での例がほとんどの様です。全く新規の薬であり日本で使用が開始されるに当たって当然注意が必要ですが、ジェノタイプ2型のC型慢性肝炎の方にとって大きな福音であることは間違いありません。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

ジェノタイプ2型の方を対象に新規経口薬治療が可能になります。ソホスブビル+リバビリンの2種類の飲み薬の治療です。ウイルス駆除率も非常に高く、副作用も軽度とみられています。新しいタイプの薬であり注意も必要ですが、2型の慢性肝炎には大きな福音です。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)